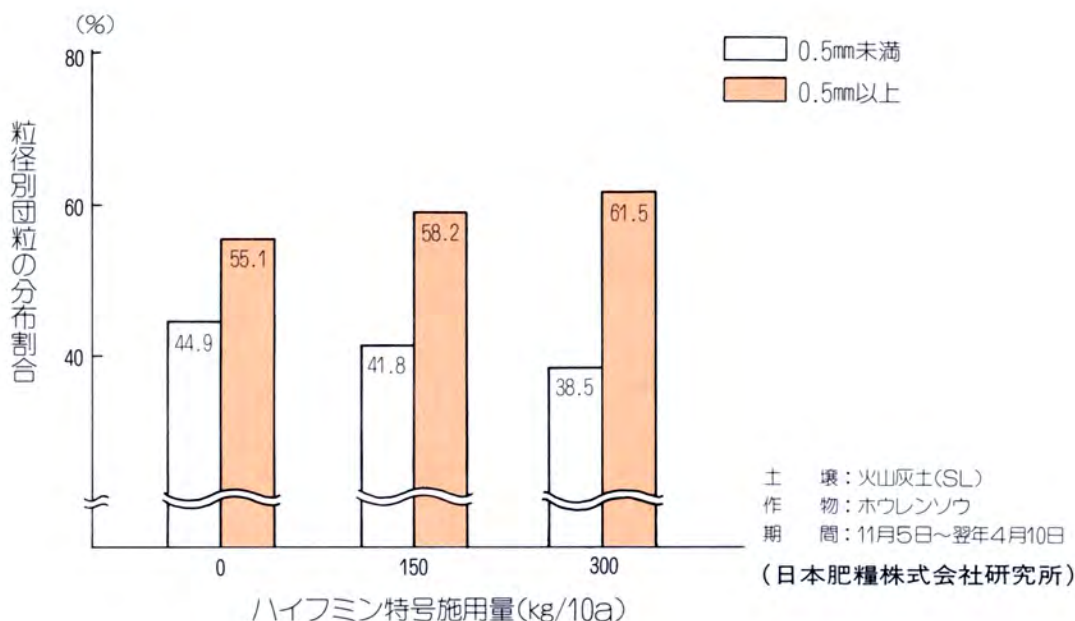


2 土壌に対する改善効果

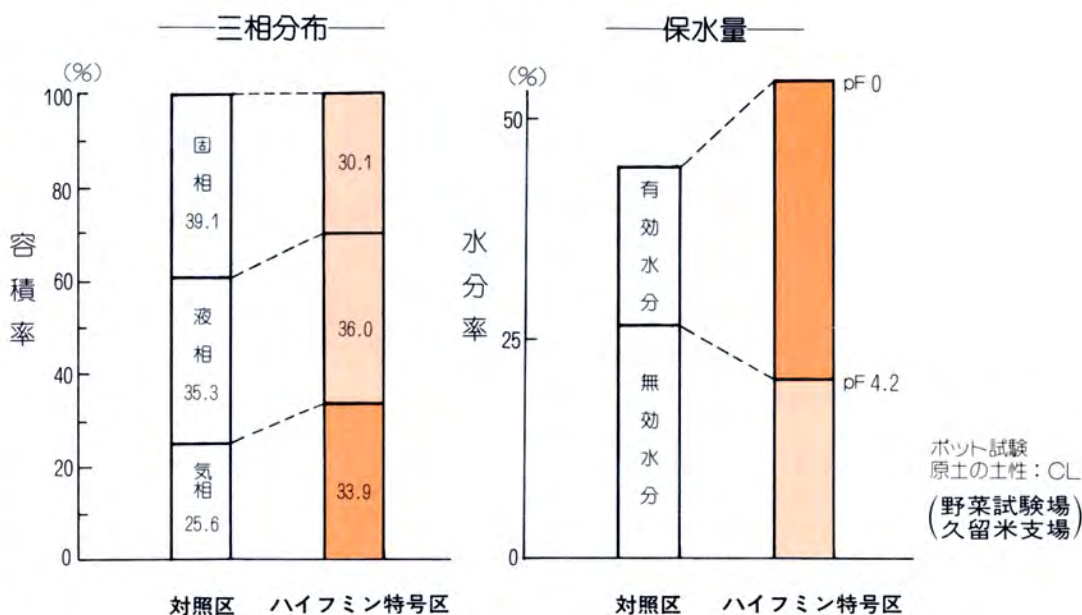
団粒形成を促進します。

ハイフミン特号の施用によって、0.5mm以上の耐水性団粒が増加します。

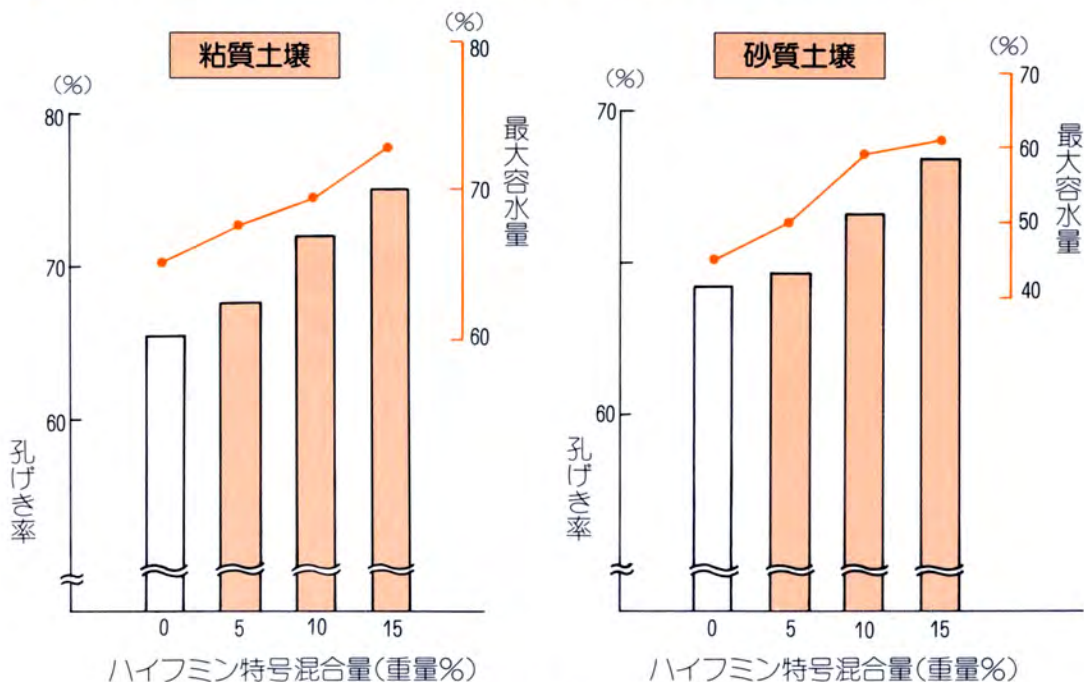


通気性がよくなり、保水力も高まります。

ハイフミン特号区では、気相率が上がり、保水量が増大します。

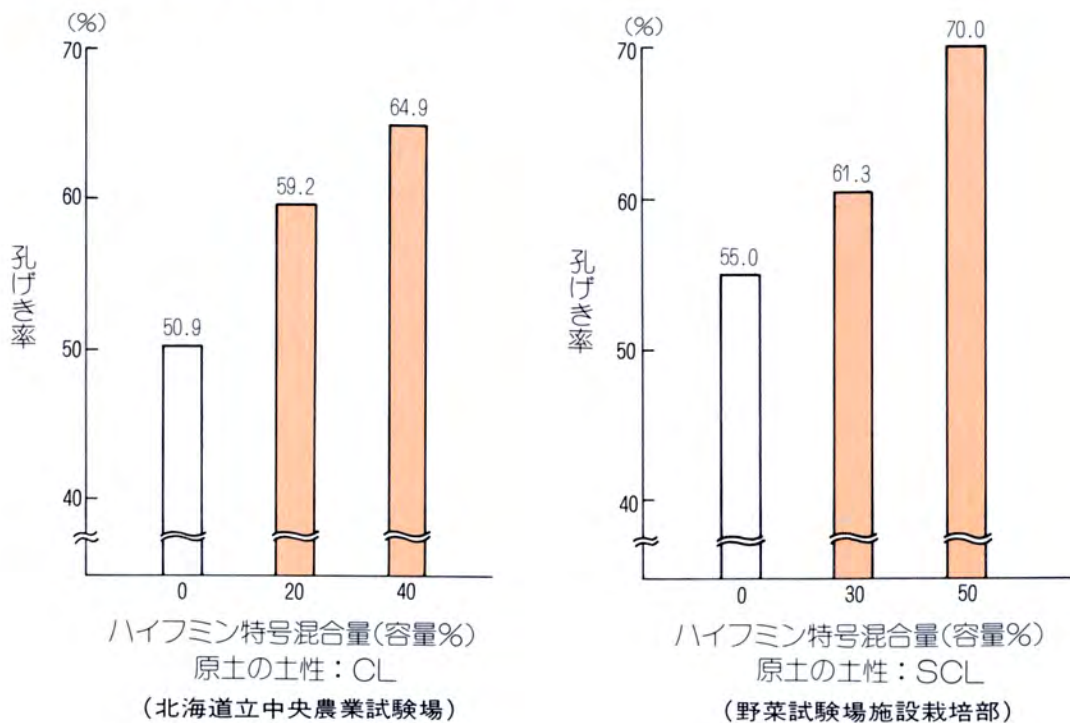


2 床土にハイフミン特号を混合すると、孔げき率が増加し、保水力も高まります。



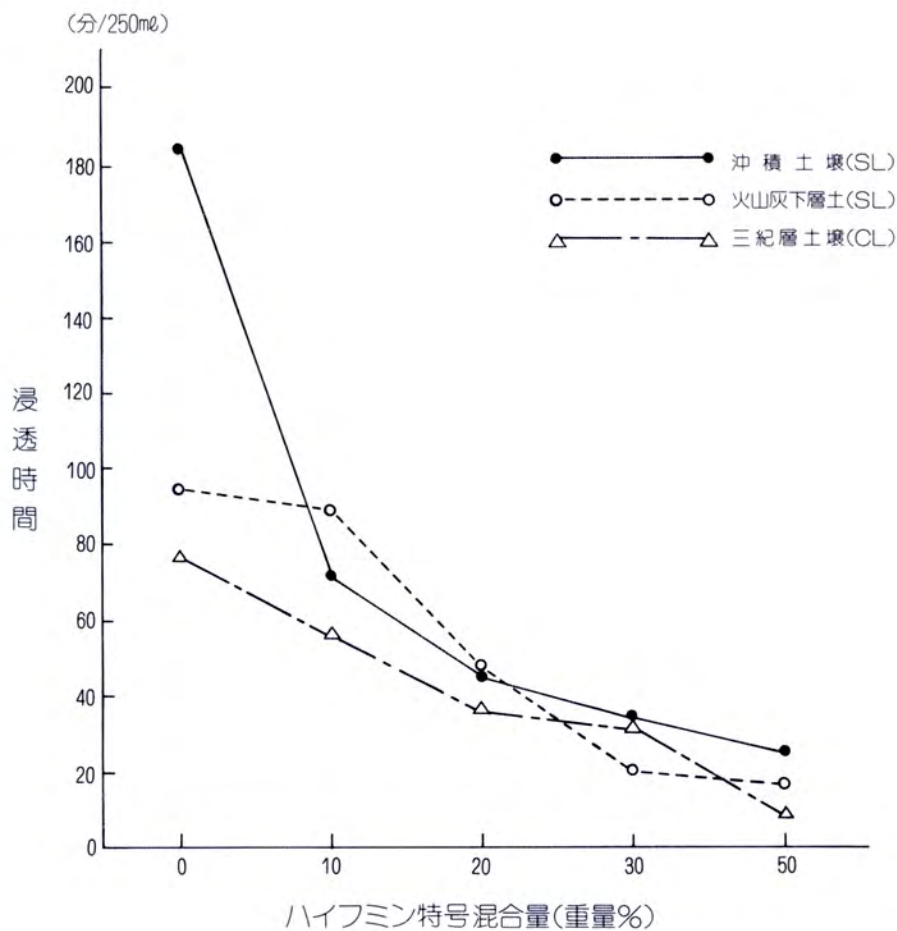
(長野県農業試験場)

3 孔げき率の増加によって、物理性がよくなります。



透水性がよくなります。

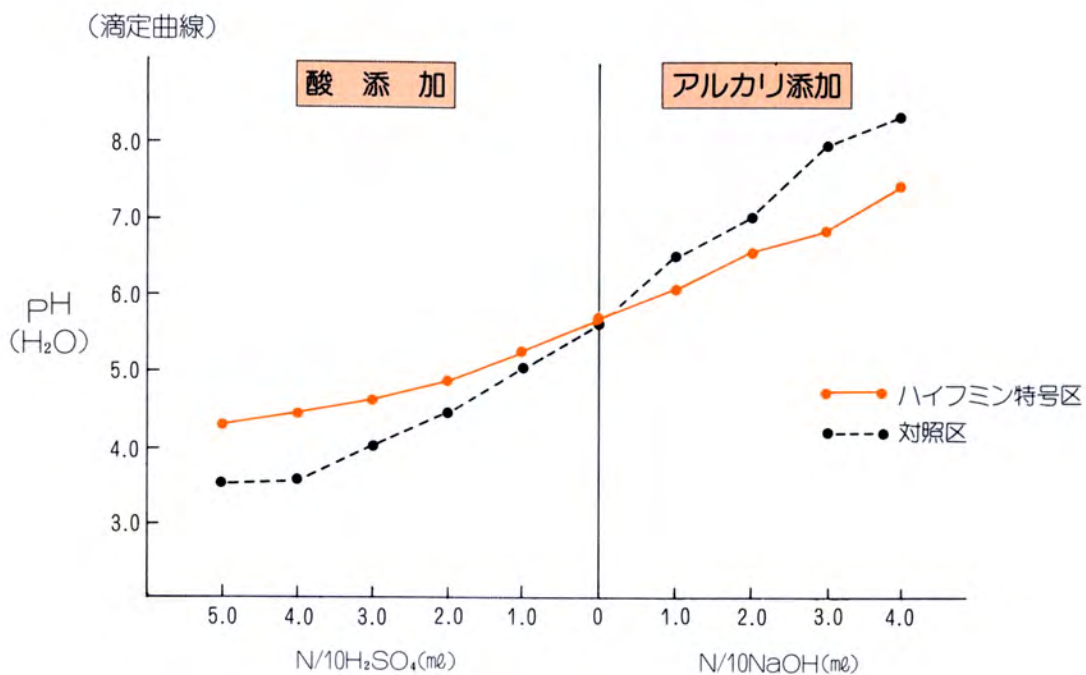
ハイフミン特号の混合量を増加するに従って、透水性がよくなり、水の浸透する時間が短くなります。



(日本肥糧株式会社研究所)

土壌の緩衝能が高まります。

ハイフミン特号を混合した土壌では、緩衝能が高まり、酸やアルカリの添加によるpHの変動が小さくなります。



土壌：沖積土(L)
(日本肥糧株式会社研究所)